

論文

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3)

石崎博志

〔抄録〕

本稿は、現代中国語の文語（書面語）読解の基礎となる「くぎり符号」（中国語では“標点符号”）の用法について考察したものである。正書法がなく、業界によってくぎり符号の用法が決まる日本語とは異なり、中国語では「くぎり符号」の用法が厳密に定められており、法律、公文書、契約書、論文、説明書など多くの公的文書に共通して適用されている。この中国語の「くぎり符号」は、日本語はもとより正書法を有する他の言語と比べても多彩な記号が用いられているが、それゆえに各記号に対応する日本語訳が定まっていないものも多い。本稿では、現代中国語の書面語に関する中国語教育の一環として、現代中国語のくぎり符号の規範の訳例を提示し、日本語との用法の違いを明らかにした。また中国語の「くぎり符号」を把握することが教学上、中国語の書面語の理解につながるだけでなく、音読の際のプロソディ理解にもつながることを指摘した。

キーワード 正書法、くぎり符号、標点符号、書面語、プロソディ

はじめに

中国語には正書法があり、文中で使用される「くぎり符号⁽¹⁾」を“標点符号”と呼ぶ。現代中国語の文語（以下「書面語」）は、日本語、英語、フランス語などよりも多彩な記号が用いられ、とりわけ法律、公文書、契約書、論文、説明書といった公的な性格の強い文書は補助符号の規範に則って作成されている⁽²⁾。一方、日本語は正書法がなく、くぎり符号の種類も中国語よりも少ない。その用法も業界で異なり、日本の公教育においてさえ一貫したルールがない。そのため日本語の母語話者にとって中国語のくぎり符号の厳密な使い分けに意識が向きにくく、中国語作文において中国語の句読法への知識が生かされているとはいいがたい⁽³⁾。しかも中国語の句読法を学ぶ時に、日本語の定訳がないケースが多く、記号の呼び方といった基本的な事

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

柄に困る場合も少なくない。

中国語のくぎり符号は、ポーズのみならず、文章および文の論理構造を示すこともあり、接続詞を使わずに記号のみで前後の論理的つながりを示す場合もある。よってそれらを日本語に訳出する際には、それ相応の接続詞に置き換える場合もあるが、中国語の句読法に対する知識を欠くと、不自然な訳文になってしまう。例えば、以下は中国の《中华人民共和国治安管理处罚法》第10条だが、3種の記号（コロン「：」とセミコロン「；」および句点「。」）が使われている。

第十条 治安管理处罚的种类分为：

- (一) 警告；
- (二) 罚款；
- (三) 行政拘留；
- (四) 吊销公安机关发放的许可证。

日本語の文の単位を適用すると、本条文は第1文が述語の途中で切れているように記述されているが、それを敢えて一文として日本語に訳出すると、不自然な訳文となる⁽⁴⁾。また日本語の翻訳文に中国語の記号をそのまま使っても、同様の問題が生じる⁽⁵⁾。そのため、中国語のくぎり符号の意図を踏まえうえて、日本語として訳文を再構築する必要がある。また、中国語のくぎり符号は、文章を読み上げる際にどこでポーズを置き、どこで強調し、どこでイントネーションを付けるのかといったプロソディを把握するための指標となる。よって中国語を朗読する際には、くぎり符号への理解は不可欠であると思われる。

本稿は、現代中国語の書面語に関する中国語教育の一環として、現代中国語におけるくぎり符号の規範の訳例を提示する。そして、中国語の書面語に対する翻訳の正確性向上や、中国語の作文の質向上、さらにはプロソディ理解を深めることによる朗読能力の強化を最終的な目的としている。

1 基礎資料と翻訳の範囲

本稿では、中国国家标准化管理委员会（2011）の「标点符号用法」（以下「用法」）を使う。2011年の改訂版は、2020年時点での最新版であり、言語学的観点から各種記号の機能を記述している点に特徴がある。「用法」は基本用法の本体と、附録A・附録Bからなるが、紙幅の都合により附録は別の機会に譲りたい。なお、本稿では、香港・台湾地域の繁体字による正書法⁽⁶⁾は扱わない。

2 句読法の分類と種類

日本語と中国語における句読法には大きな違いがある。例えば日本語の「句点」と中国語の“句号”は、同じ形式(。)で、ほぼ同じ機能をもつが、日本語の「読点」と中国語の“顿号”は、同じ形式(、)ではあるが、文中での機能が異なる。

中国語のくぎり符号はむしろ英語のそれと重なる点も多いが、異なる用法も多い。後述のように、中国語ではくぎり符号を大きく「符号」「点号」と「標識」「标号」の2種に分類し、記号が「符号」に属するか、「標識」に属するかによって用法を異にするが、日本語や英語にはそのような区別はない。中国語の記号の体系性と、日英語の記号の呼称には齟齬があるので、一貫した呼称を付すことは容易ではない。よって本章では、記号の呼称を整理することから始めたい。表1「仮訳」欄の(1)-(3)は以下のとおりである。

(1) は文化庁(2001)による日本語を借用した呼称

(2) は英語(左の英語欄を参照)を借用した呼称⁽⁷⁾

(3) はその他の慣用的呼称

例えば「英語」や訳例(2)で呼称を統一して翻訳した場合、外来語が氾濫した訳文になる。また中国語の漢字を日本漢音で音読みして“逗号”を「トウゴウ」と読む、あるいは中国語の原語読みで「トウハオ」とすることも不可能ではない。だが、これは学習者にとってある程度の中国語の習得が前提となるため、理解に差が生じる可能性がある。よって本稿での訳文は、日本語と同じ機能をもつものや、日本語にも名称がある場合は(1)を採用し、現代日本語で広く使用される呼称については(2)や(3)を採用しする。そして最終的に本稿で使用した呼称には、仮訳欄に下線を引いている。

表1 中国語のくぎり符号“标点符号”

中国語	形式	英語	仮訳
句号	。	idiographic full-stop	(1) マル(句点)。(2) <u>イディオグラフィック・フルストップ</u> 。
问号	?	question mark	(1) <u>疑問符</u> 。(2) クエスチョン。
感叹号	!	exclamation mark	(1) <u>感嘆符</u> 。(2) エクスクラメーション。
逗号	,	comma	(1) <u>コンマ</u> 。
顿号	、	idiographic comma	(1) <u>テン</u> 。(2) <u>イディオグラフィック・コンマ</u> 。(3) 並列読点。
分号	;	semicolon	(1) <u>セミコロン</u> (テンコンマ)。
冒号	:	colon	(1) <u>コロ</u> ン(カサネテン)。

引号	“ ” ‘ ’	quotations	【総称】(1) 引用符 (カコミ)。(2) コーテーション。 【単称】 “ ” 二重引用符。 ‘ ’ 単独引用符。
括号	() [] { }	brackets parenthesis brackets braces	【総称】(1) カッコ。(2) ブラケット 【単称】 () 丸カッコ [] 角カッコ { } 波カッコ
破折号	——	dash	(1) ナカセン。(2) <u>ダッシュ</u> 。
省略号	……	ellipsis	(1) テンセン。(2) エリプシス。(3) 六点リーダー。
着重号	.	Emphasis point	(1) <u>ワキテン</u> 。(2) エンファシス。(3) ビュレット。圈点。
书名号	《 》 〈 〉	guillemets (angle brackets)	【総称】(1) カギ。(2) ギュメ。(3) アングル・ブラケット。山括弧。 【単称】 《 》 二重カギ 〈 〉 単独カギ
分隔号	/	slash	(2) スラッシュ
間隔号	·	interpunct	(1) ナカテン。(2) インターパンクト。(3) <u>ナカゲロ</u> 。ポツ。
连接号	- — ～	hyphen	【総称】(1) ツナギテン。(2) <u>ハイフン</u> 。 【単称】 「-」 半角ハイフン “横线” 「—」 全角ハイフン “一字线” 「～」 ナミセン “浪纹线”
专名号	——	underline	(1) ワキセン。(2) アンダースコア。(3) 傍線。 <u>下線</u> 。アンダーライン。

3 翻訳に関して

「用法」は、各くぎり符号に対して「定義」「形式」「基礎的用法」の3段階で解説し、例文で用法を示す。紙幅の都合で例文の和訳は割愛する。また記号の呼称は、表1において傍線で示した訳に加え、中国語の呼称も“ ”内に示す。なお中国語のくぎり符号は基本的にポーズを表すため音読しないが、慣用的に音読する記号は注で読み方を示す。

4 翻訳

くぎり符号“標点符号”の用法

1 範囲

本基準は現代中国語のくぎり符号“标点符号”の用法を定める。

本基準は中国語の書面語（中国語と外国語が混在する場合は漢語部分）に適用される。

2 用語と定義

以下の用語と定義はこの文書に適用される。

2.1 くぎり符号“标点符号” (punctuation⁽⁸⁾)

文字を補って言語を記録する記号で、書面語の有機的構成要素であり、語句のポーズや語気を表し、ある種の成分（主に単語）における特定の性質や効果を表すことに用いられる。（数学の記号、貨幣の記号、校勘記号、辞書記号、注音符号など特殊な領域の専門記号は、くぎり符号“标点符号”には含まない。）

2.2 文“句子” (sentence) は、前後に比較的長いポーズがあり、一定の語気やイントネーションを帯び、相対的にまとまった意味をなす言語単位である。

2.3 複文“复句” (complex sentence)

2つあるいはそれ以上の意味が密接に関係するフレーズで構成される言語単位で、これには（内部に一つの意味関係しかない）単純な複文と（内部に多層的な意味関係を含む）多重複文が含まれる。

2.4 単文（あるいは節）“分句” (clause)

複文のなかに、2つあるいはそれ以上の、前後にポーズがあり、相対的にまとまった意味をなし、文末の語気とイントネーションを帯びず、あるものは前に関連する単語を加えることができる言語単位である。

2.5 語句“语段” (expression)

言葉のまとまりを指し、各言語単位（「単語」、「フレーズ」、「文」、「複文」など）に対し、特に区別をつけない時の総称である。

3 くぎり符号“标点符号”の種類

3.1 符号“点号”

符号のはたらきは点で区切ることで、主にポーズと語気を表す。符号“点号”はさらに文末符号“句末点号”と文中符号“句内点号”に分けられる。

3.1.1 文末符号“句末点号”

文末に用いられる符号で、文末のポーズと文の語気を表す。句点“句号”、疑問符“问号”、感嘆符“叹号”を含む⁽⁹⁾。

3.1.2 文中符号“句内点号”

文中に用いられる符号で、文中の各種の異なる性質のポーズを表す。文中点記号“句内点

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志) 号”にはコンマ“逗号”、テン“頓号”⁽¹⁰⁾、セミコロン“分号”、コロンの“冒号”を含む。

3.2 標識“标号”

標識“标号”のはたらきは、主として（主に語句といった）ある種の成分の、特定の性質やはたらきを示すことである。引用符“引号”、カッコ“括号”、ダッシュ“破折号”、テンセン“省略号”、ワキテン“着重号”、ハイフン“连接号”、ナカグロ“间隔号”、二重カギ“书名号”、ワキセン“专名号”、スラッシュ“分隔号”が含まれる。

4 くぎり符号“标点符号”の定義、形式と用法

4.1 句点“句号”

4.1.1 定義

文末の符号の一種で、主に文の陳述の語気を表す。

4.1.2 形式

句点の形式は「。」である。

4.1.3 基本的用法

4.1.3.1 文の末尾に用いられ、陳述の語気を表す。句点の使用は主に語句の前後に比較的長いポーズがあり、かつ陳述の語気とイントネーションをおびることを根拠とするのであり、決して文の長短によっては決まるわけではない。

例1：北京是中华人民共和国的首都。

例2：（甲：咱们走着去吧？）乙：好。

4.1.3.2. 時に柔らかい命令の語気や感嘆の語気も表すことができる。

例1：请您稍等一下。

例2：我不由地感到，这些普通劳动者也是同样值得尊敬的。

4.2 疑問符“问号”

4.2.1 定義

文末の符号の一種で、主に文の疑問の語気を表す。

4.2.2 形式

疑問符“问号”の形式は「？」である。

4.2.3 基本的用法

4.2.3.1 文の末尾に用い、疑問の語気を表す（反語、自問など疑問タイプも含む）。疑問符の使用は主に複合語の前後に比較的長いポーズがあり、かつ疑問の語気とイントネーションをおびることを根拠とするのであり、決して文の長短で決まる訳ではない。

例1：你怎么还不回家去呢？

例2：难道这些普通的战士不值得歌颂吗？

例3：(一个外国人，不远万里来到中国，帮助中国的抗日战争。) 这是什么精神？这是国际主义的精神。

4.2.3.2 選択疑問文においては、通常、疑問符は後ろの選択項目の末尾にしか使わず、それぞれの選択項目の間は一般にコンマ“逗号”で区切る。選択項目が比較的短く、その項目の間にほとんどポーズがない時は、選択項目の間にコンマ“逗号”を用いない。選択項目が比較的多いか、長い場合、あるいはそれぞれの選択項目の独立性が有意に際だっている場合には、それぞれの選択項目の後ろにも疑問符を用いる。

例1：诗中记述的这场战争究竟是真实的历史描述，还是诗人的虚构？

例2：这是巧合还是有意安排？

例3：要一个什么样的结尾：现实主义的？传统的？大团圆的？荒诞的？民族形式的？有象征意义的？

例4：(他看着我的作品称赞了我。) 但到底是称赞我什么：是有几处画的好？还是什么都敢画？抑或只是一种对于失败者的无可奈何的安慰？我不得而知。

例5：这一切都是有客观的条件造成的？还是有行为的惯性造成的？

4.2.3.3 続けて多くの疑問文を用いたり、疑問の語氣にアクセントが付くことを表す時には、疑問符をたたみかける。通常は、1回用い、さらに1つたたみかけ、最多で3つの疑問符をたたみかける。特に表すべき強い感情がない場合には、疑問符をたたみかけないのがよい。

例：这就是你的做法吗？你这个总经理是怎么当的？？你怎么竟敢这样欺骗消费者？？？

4.2.3.4 疑問符にも標識“标号”の用法がある。つまり文中に用い、疑問が残ることや不明確なことを表す。

例1：马致远 (1250? —1321)，大都人，元代戏曲家、散曲家。

例2：钟嵘 (? —518)，颍川长社人，南朝梁代文学批评家。

例3：出现这样的文字错误，说明作者(编者? 校者?)很不认真。

4.3 感嘆符“叹号”

4.3.1 文末の符号の一種で、主に文の感嘆の語氣を表す。

4.3.2 感嘆符の形式は「！」である。

4.3.3 基本的用法

4.3.3.1 文の末尾に用い、主に感嘆の語氣を表し、時に強い命令の語氣や反語の語氣などを表すこともできる。感嘆符の使用は、主に語句の前後に比較的長いポーズがあり、かつ感嘆の語氣やイントネーションがついた強い命令や反語の語氣やイントネーションをおびることに基づくもので、決して文の長さによって決まるわけではない。

例1：才一年不见，这孩子都长这么高啦！

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

例 2: 你给我住嘴!

例 3: 谁知道他是怎么搞的!

4.3.3.2 オノマトペの後に用い、音が短い、ないし唐突なことを示す。

例 1: 咔嚓! 一道闪电划破了夜空。

例 2: 咚! 咚咚! 突然传来一阵急促的敲门声。

4.3.3.3 音が大きい、ないし音が次第に大きくなることを表す時に、感嘆符をたたみかけることができる。また強い語気を伝える時にも、感嘆符をたたみかけることができるが、感嘆符は最多でも3つしか使えない。特に強い感情を伝える必要がない時は、感嘆符はたたみかけないのがよい。

例 1: 轰!!! 在这天崩地塌的声音中, 女娲猛然醒来。

例 2: 我要揭露! 我要控诉!!! 我要以死抗争!!!

4.3.3.4 文が疑問や感嘆の2種類の語気を含み、そのうえそれが比較的強い時(例えば強い感情をおびた反語や驚きの語気をおびた疑問文)には、疑問符の後ろにさらに感嘆符を加える(疑問符、感嘆符はそれぞれ一つずつ)。

例 1: 这么点困难就能把我们吓倒吗?!

例 2: 他连这些最起码的常识都不懂, 还敢说自己是高科技人材?!

4.4 コンマ“逗号”

4.4.1 定義

文中の符号の一種で、文あるいは語句の間の一般的ポーズを表す。

4.4.2 形式

コンマ“逗号”の形式は「,」である。

4.4.3 基本的用法

4.4.3.1 複文における各単文間のポーズで、時にセミコロン“分号”を用いる以外は(5.6.3.1参照)、一般にコンマを用いる。

例 1: 不是人们的意识决定人们的存在, 而是人们的社会存在决定人们的意识。

例 2: 学历史使人更明智, 学文学使人更聪慧, 学数学使人更精细, 学考古使人更深沉。

例 3: 要是不相信我们的理论能反映现实, 要是不相信我们的世界有内在和谐, 那就不可能有科学。

4.4.3.2 以下の各種の文法的位置で用いる。

a) 比較的長い主語の後ろ。

例 1: 苏州园林建筑各种门窗的精美设计和雕镂功夫, 都令人叹为观止。

b) 文頭の状語(連用修飾語⁽¹¹⁾)の後ろ。

例 2: 在苍茫的大海上, 狂风卷集着乌云。

c) 比較的長い目的語の前。

例3：有的考古工作者认为，南方古猿生存于上新世至更新世的初期和中期。

d) 文中の語気詞を伴った主語（あるいはその他の成分）の後ろ、あるいは文中の語気詞を伴った並列成分の間。

例4：他呢，倒是很乐意地、全神贯注地干起来了。

例5：(那是个没有月亮的夜晚。)可是整个村子——白房顶啦，白树木啦，雪堆啦，全看得见。

e) 比較的長い主語の間、述語の間、あるいは目的語の間。

例1：母亲沉痛的诉说，以及亲眼见到的事实，都启发了我幼年时期我追求真理的思想。

例2：那姑娘头戴一顶草帽，身穿一条绿色的裙子，腰间还系着一根橙色的腰带。

例3：必须懂得，对于文化传统，既不能不分青红皂白统统抛弃，也不能不管精华糟粕全盘继承。

f) 前置された述語の後ろ、あるいは後置された状語（連用修飾語）や定語（連体修飾語⁽¹²⁾）の前。

例1：真美啊，这条蜿蜒的林间小路。

例2：她吃力地站了起来，慢慢地。

例3：我只是一个人，孤孤单单的。

4.4.3.3 以下の各種ポーズに用いる。

a) 複指成分⁽¹³⁾あるいは挿入成分の前後。

例1：老张，就是原来的办公室主任，上星期已经调走了。

例2：车，不用说，当然是头等。

b) 語気緩和の感嘆語、呼称、あるいは呼びかけ語の後ろ。

例3：哎哟，这儿，快给我揉揉。

例4：大娘，您到哪儿去啊？

例5：喂，你是哪个单位的？

c) 何らかの序数詞（頭文字が“第”、“其”および“首先”などの序数詞）の後ろ。

例6：为什么许多人都有长不大的感觉呢？原因有三：第一，父母总认为自己比孩子成熟；第二，父母总要以自己的标准来衡量孩子；第三，父母出于爱心而总不想让孩子在成长的过程中走弯路。

例7：《玄秘塔碑》所以成为书法的范本，不外乎以下几方面的因素：其一，具有楷书点画、构体的规范性；其二，承上启下，成为唐楷的极致；其三，字如其人，爱人及字，柳公权高尚的书品、人品为后人所崇拜。

例8：下面从三个方面讲讲语言的污染问题：首先，是特殊语言环境中的语言污染问题；其次，是滥用缩略语引起的语言污染问题；再次，是空话和废话引起的语言污染问题。

4.5 テン“顿号”

4.5.1 定義

文中の符号の一種で、語句のなかの並列した語や順序を表す語の後ろのポーズを表す。

4.5.2 形式

テン“顿号”の形式は「、」である。

4.5.3 基本的用法

4.5.3.1 並列した語句の間に用いる。

例1：这里有自由、民主、平等、开放的风气和氛围。

例2：造型科学、技艺精湛、气韵生动，是盛唐石雕的特色。

4.5.3.2 ポーズが必要な重複した単語の間に用いる。

例：他几次三番、几次三番地辩解着。

4.5.3.3 何らかの序数詞（カッコのつかない漢数字あるいは“天干地支”といったタイプの序数詞）の後ろ。

例1：我准备讲两个问题：一、逻辑学是什么？二、怎样学好逻辑学？

例2：风格的具体内容主要有以下四点：甲、题材；乙、用字；丙、表达；丁、色彩。

4.5.3.4 隣接する、ないし近い2つの数字が連続して用いられ、概数を表す場合は、通常コンマは用いない。もし隣接する2つの数字が連用されて省略形式になる場合は、テン“顿号”を用いる。

例1：飞机在6000米高空水平飞行时，只能看到两侧八九公里和前方一二十公里范围内的地面。

例2：这种凶猛的动物常常三五成群地外出觅食和活动。

例3：农业是国民经济的基础，也是二、三产业的基础。

4.5.3.5 引用符でくくった並列成分の間や、二重カギ“书名号”でくくった並列成分の間には、通常テン“顿号”を用いない。もしそれ以外の成分が並列した引用符の間や、並列した二重カギ“书名号”の間に挿入された場合は、テン“顿号”を使う。

例1：“日”“月”构成“明”字。

例2：店里挂着“顾客就是上帝”“质量就是生命”等横幅。

例3：《红楼梦》《三国演义》《西游记》《水浒传》，是我国长篇小说的四大名著。

例4：李白的“白发三千丈”（《秋浦歌》）、“朝如青丝暮成雪”（《将进酒》）都是脍炙人口的诗句。

例5：办公室里订有《人民日报》（海外版）、《光明日报》和《时代周刊》等报刊。

4.6 セミコロン“分号”

4.6.1 定義

文中の符号の一種で、複文内部の並列関係にある各文の間のポーズ、および並列関係にない多重複文の第一階層の各単文の間のポーズを表す。

4.6.2 形式

セミコロン“分号”の形式は「；」。

4.6.3 基本的用法

4.6.3.1 複文内部の並列関係にある文（とりわけ各文内部にコンマがある場合）の間のポーズを示す。

例1：语言文字的学习，就理解方面说，是得到一种知识；就运用方面说，是养成一种习惯。

例2：内容有分量，尽管文章短小，也是有分量的；内容没有分量，即使写得再长也没有用。

4.6.3.2 並列関係にない多重複文の、第一階層の単文（主に選択や転換などの関係）の間のポーズを表す。

例1：人还没看见，已经先听见歌声了；或者人已经转过山头望不见了，歌声还余音袅袅。

例2：尽管人民革命的力量在开始时总是弱小的，所以总是受压的；但是由于革命的力量代表历史发展的方向，因此本质上又是不可战胜的。

例3：不管一个人如何伟大，也总是生活在一定的环境和条件下；因此，个人的见解总难免带有某种局限性。

例4：6月夜里下了一场雨，以为可以凉快些；谁知没有凉快下来，反而更热了。

4.6.3.3 項を分けて列挙された各項の間に用いる。

例1：特聘教授的岗位职责为：一、讲授本学科的主干基础课程；二、主持本学科的重大科研项目；三、领导本学科的学术队伍建设；四、带领本学科赶超或保持世界先进水平。

4.7 コロン“冒号”

4.7.1 定義

文中の符号で、複合語のなかで次に続く文を提示するあるいは、前の文を総括する時のポーズを表す。

4.7.2 形式

コロンの形式は「：」である。

4.7.3 基本的用法

4.7.3.1 まとめないし（例えば“说”“例如”“证明”等）提示的な語句の後ろに用い、次の文を提示することを表す。

例1：北京紫禁城有四座城门：午门、神武门、东华门和西华门。

例2：她高兴地说：“咱们去好好庆祝一下吧！”

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

例 3：小王笑着点了点头：“我就是这么想的。”

例 4：这一事实证明：人能创造环境，环境同样也能创造人。

4.7.3.2 前文をまとめることを示す。

例：张华上了大学，李萍进了技校，我当了工人：我们都有美好的前途。

4.7.3.3 説明が必要な語の後に用い、注釈と説明を表す。

例 1：(本市将举办首届大型书市。) 主办单位：市文化局；承办单位：市图书进出口公司；
时间：8月15日-20日；地点：市体育馆观众休息厅。

例 2：(做阅读理解题有两个办法。) 办法之一：先读题干，再读原文，带着问题有针对性地
读课文。办法之二：直接读原文，读完再做题，减少先入为主的干扰。

4.7.3.4 書簡や講演録における呼称や呼びかけ語の後ろに用いる。

例 1：广平先生：……

例 2：同志们、朋友们：……

4.7.3.5 一文のなかでは一般にコロン“冒号”をあてはめるべきではない。列挙や条文タイプの叙述で、コロン“冒号”を当てはめざるをえない時は、改行してそれぞれのレベルを明示する。

例 1：第十条 遗产按照下列顺序继承：

第一顺序：配偶、子女、父母。

第二顺序：兄弟姐妹、祖父母、外祖父母。

4.8 引用符“引号”

4.8.1 定義

標識の一種で、語句のなかで直接引用したり、特に指示する必要がある成分を示す。

4.8.2 形式

引用符“引号”の形式には、二重引用符“双引号”「“ ”」と単独引用符“单引号”「‘ ’」の2種類があり、左側は左引用符“前引号”、右側は右引用符“后引号”である⁽¹⁴⁾。

4.8.3 基本的用法

4.8.3.1 語句のなかの直接引用する内容を示す。

例：李白诗中就有“白发三千丈”这样极尽夸张的语句。

4.8.3.2 強調する必要がある語句あるいは強調する内容を示す。

例：这里所谓的“文”，并不是指文字，而是指文采。

4.8.3.3 語句のなかの特殊な意味を含み、特に指示する必要がある成分を示す。例えば、別称、略称、反語など。

例 1：电视被称作“第九艺术”。

例 2：人类学上常把古人化石统称为尼安德特人，简称“尼人”。

例3：有几个“慈祥”的老板把捡来的茶叶用盐浸浸就算作工友的菜肴。

4.8.3.4 引用符“引号”のなかにさらに引用符“引号”を使わなければならない時、外側に二重引用符“双引号”を使い、内側に単独引用符“単引号”を使う。

例：他问：“老师，‘七月流火’是什么意思？”

4.8.3.5 独立してまとまりをなす引用文が、一つのまとまりだけなら、その冒頭と末尾いずれも引用符“引号”を用いる。また一つのまとまりのみならず、そのまとまりの冒頭に「左引用符）」のみ用い、最後のまとまりの末尾に「右引用符」を使う。

我曾在报纸上看到有人这样谈幸福：

“幸福是知道自己喜欢什么和不喜欢什么。……”

“幸福是知道自己擅长什么和不擅长什么。……”

“幸福是在正确的时间做了正确的选择。……”

4.8.3.6 日付がある事件や祝日あるいはその他の特定の意味のあるフレーズ（略称を含む）を示す時、通常そのなかの月と日のみを標記する。またその事件や祝日自体を際立たせ、強調する必要がある時にも、その事件や祝日と一緒に標記する。

例1：“5・12”汶川大地震⁽¹⁵⁾

例2：“五四”以来的话剧，是我国戏剧中的新形式。

例3：纪念“五四运动”90周年

4.9 カッコ“括号”

4.9.1 定義

「標識」の一種で、語句のなかの注釈内容、補充説明、あるいはその他特別な意味の辞句を示す。

4.9.2 形式

カッコ“括号”の主な形式は、丸カッコ“圆括号”は（ ）で、その他の形式には角カッコ“方括号”が []、亀甲カッコ⁽¹⁶⁾“六角括号”が []、および墨付カッコ⁽¹⁷⁾“方头括号”が【 】などとなっている。

4.9.3 基本的用法

4.9.3.1 以下の各種状況を示すには、みな丸カッコ“圆括号”を使う。

a) 注釈内容や補充説明を示す。

例1：我校拥有特级教师（含已退休的）17人⁽¹⁸⁾。

例2：我们不但善于破坏一个旧世界，我们还将善于建设一个新世界！（热烈鼓掌）

b) 訂正あるいは補充の文字であることを示す。

例3：信纸上用稚嫩的字体写着：“阿夷（姨），您好！”。

例4：该建筑公司负责的建筑工程全部达到优良工程（的标准）。

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

c) 順序を表す語を示す。

例 5: 语言有三个要素: (1) 声音; (2) 结构; (3) 意义。

例 6: 思想有三个条件: (一) 事理; (二) 心理; (三) 伦理。

d) 引用の出典を示す。

例 7: 他说得好: “未画之前, 不立一格; 既画之后, 不留一格。” (《板桥集·题画》)

e) 中国語のピンインの音注であることを示す。

例 8: “的 (de)” 这个字在现代汉语中最常用。

4.9.3.2 作者の国籍や属する王朝を示す時は、角カッコ“方括号”や亀甲カッコ“六角括号”を使うことができる。

例 1: [英] 赫胥黎 《进化论与伦理学》

例 2: [唐] 杜甫著

4.9.3.3 定期刊行物で通信および報道の冒頭を示す時に、墨付カッコ“方头括号”を使うことができる。

例: 【新华社南京消息】

4.9.3.4 公文書で文書番号のなかの発信年を示す時に、亀甲カッコ“六角括号”を使うことができる。

例: 国发〔2011〕3号文件

4.9.3.5 注釈が付けられた語であることを示す時、亀甲カッコ“六角括号”や墨付カッコ“方头括号”を使うことができる

例 1: [奇观] 奇伟的景象。

例 2: 【爱因斯坦】物理学家。生于德国, 1933年因受纳粹政权迫害, 移居美国。

4.9.3.6 科学技術書籍における数学、論理公式以外の、あらゆる括弧（特に同じ形式の括弧）はなるべくセットで用いることは避けるべきである。セットで括弧を使わなければならない時には、異なる括弧の形式を使って組み合わせて使うのがよい。

例: [茸 (róng) 毛] 很细很细的毛。

4.10 ナカセン“破折号”

4.10.1 定義

標識の一種で、表現のなかの成分の注釈、補充説明あるいは発音、意味などの変化を示す。

4.10.2 形式

ナカセン“破折号”の形式は「——」である。

4.10.3 基本的用法

標識の一種で、表現におけるある種の成分の注釈や補充説明、あるいは音声や意味の変化を示す。

4.10.3.1 注釈内容や補充説明を示す（カッコも用いることができる。4.9.3.1を参照。また両者の区別はB.1.7も参照）。

例1：一个矮小而结实的日本中年人 — 内山老板走了过来。

例2：我一直坚持读书，想借此唤起弟妹对生活的希望 — 无论环境多么困难。

4.10.3.2 挿入句であることを示す。（テン“逗号”も使うことができる。4.4.3.3を参照）

例：这简直就是 — 说得不客气点 — 无耻的勾当！

4.10.3.3 前の文のまとめを示したり、後続する文を提示する。（コロンも使うことができる。

4.7.3.1、4.7.3.2を参照）

例1：坚强，纯洁，严于律己，客观公正 — 这一切都难得地集中在一个人身上。

例2：画家开始娓娓道来 — 数年前的一个寒冬，……

4.10.3.4 話題の転換を示す。

例：“好香的干菜， — 听到风声了吗？”赵七爷低声说道。

4.10.3.5 声が伸びていることを示す。

例：“嘎 — ”传过来一声水禽被惊动的鸣叫。

4.10.3.6 話の中断や空白を示す。

例1：“班长他牺 — ”小马话没说完就大哭起来。

例2：“亲爱的妈妈，你不知道我多爱您。 — 还有你，我的孩子！”

4.10.3.7 引用された対話であることを示す。

例： — 你长大后想成为科学家吗？

— 当然想了！

4.10.3.8 事柄が列举された箇条書きであることを示す。

例：根据研究对象的不同，环境物理学分为以下五个分支学科：

— 环境声学；

— 环境光学；

— 环境热学；

— 环境电磁学；

— 环境空气动力学。

4.10.3.9 副題の前に用いる。

例1：飞向太平洋

— 我国新型号运载火箭发射目击记

4.10.3.10 引用文や注の後ろに用い、作者や出典あるいは注釈者であることを示す。

例1：先天下之忧而忧，后天下之乐而乐。 — 范仲淹

例2：乐浪海中有倭人，分为白余国。 — 《汉书》

例3：很多人写好信后把信笺折成方胜形⁽¹⁹⁾，我看大可不必。（方胜，指古代妇女戴的方形

首飾，用彩綢等制作，由两个斜方部分叠合而成。 — 编者注)

4.11 テンセン⁽²⁰⁾“省略号”

4.11.1 定義

標識の一種で、表現のなかで内容が省略されたもの、および意味が途切れることなどを示す。

4.11.2 形式

テンセン“省略号”の形式は(……)である。

4.11.3 基本的用法

4.11.3.1 引用文が省略されていることを示す。

例：我们齐声朗诵起来：“……俱往矣，数风流人物，还看今朝。”

4.11.3.2

例1：对政治的敏感，对生活的敏感，对性格的敏感，……这都是作家必须要有的素质。

例2：他气得连声说：“好，好……算我没说。”

4.11.3.3 言葉を言い尽くしていないことを示す。

例1：在人迹罕至的深山密林里，假如突然看见一缕炊烟，……

例2：你这样干，未免太……！

4.11.3.4 話が途切れ途切れであることを示す。

例：她磕磕巴巴地说：“可是……太太……我不知道……你一定是认错了。”

4.11.3.5 対話における沈黙を示す。

例：“还没结婚吧？”

“……”他飞红了脸，更加忸怩起来。

4.11.3.6 特定の要素の欠如を示す。

例1：只要……就……

4.11.3.7 詩の行や段落の省略を示す時には、二つのテンセン“省略号”(すなわち12の連続した点)を連用することができる。

例1：从隔壁房间传来缓缓而抑扬顿挫的吟咏声 —

床前明月光，疑是地上霜。

……………

例2：该刊根据工作质量、上稿数量、参与程度等方面的表现，评选出了高校十佳记者站。

还根据发稿数量、提供新闻线索情况已经对刊物的关注度等，评选出了十佳通讯员。

……………

4.12 ワキテン “着重号”

4.12.1 定義

標識の一種で、表現のなかの重要な、あるいは特に明示する必要のある文字を示す。

4.12.2 形式

ワキテン “着重号” の形式は「.」で、当該文字の下に標記する。

4.12.3 基本的用法

4.12.3.1 語句のなかの重要な文字を示す。

例1：诗人需要表现，而不是证明。

例2：下面对本文的理解，不正确的一项是：……

4.12.3.2 語句のなかで明示する必要がある文字を示す。

例：下边加点的字，除了在词中的读法外，还有哪些读法？

着急 子弹 强调

4.13 ハイフン “连接号”

4.13.1 定義

「標識」の一種で、何らかの関連成分の間の接続であることを示す。

4.13.2 形式

ハイフン “连接号” の形式⁽²¹⁾には、半角ハイフン (“横线” “-”)、全角ハイフン (“一字线” “—”) ナミセン (“浪纹线” “~”) の3種がある。

4.13.3 基本的用法

4.13.3.1 以下に挙げる状況を示すには、いずれもハイフン “短横线” を用いる。

a) 化合物の名称、表、挿入図の通し番号。

例1：3-戊酮为无色液体，对眼及皮肤有强烈刺激性。

例2：参见下页表2-8、表2-9⁽²²⁾。

b) つなげた番号、番地の番号、電話番号およびアラビア数字が表す年月日⁽²³⁾などを含む。

例3：安宁里东路26号院3-2-11室⁽²⁴⁾

例4：联系电话：010-88842603

例5：2011-02-15⁽²⁵⁾

c) 複合名詞で連結する効果を出す。

例6：吐鲁番-哈密盆地⁽²⁶⁾

d) 商品の名称と型番

例7：WZ-10直升机具有复杂天气和夜间作战的能力。

e) 中国語のピンイン、外来語内部の分合

例8：shuōshuō-xiàoxiào (说说笑笑)

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

例9：盎格鲁－撒克逊人

例10：让－雅克・卢梭（“让－雅克”为双名⁽²⁷⁾）

例11：皮埃尔・孟戴斯－弗朗斯（“孟戴斯－弗朗斯”为复姓）

4.13.3.2 下に羅列する各種状況を示し、一般には全角ハイフン“一字线”を使うが、時にナミセン“浪纹线”も使用する。

a) (例えば時間、地域などの) 関連項目の開始と終了を示す⁽²⁸⁾。

例1：沈括（1031－1095⁽²⁹⁾），宋朝人。

例2：2011年2月3日－10日

例3：北京－上海特別旅客快车

b) (アラビア数字あるいは漢数字からなる) 数値の範囲の開始と終了。

例4：25～30g

例5：第五～八課

4.14 ナカグロ“間隔号”

4.14.1 定義

標識の一種で、関連する成分の間の境界を示す。

4.14.2 形式

ナカグロの形式は「・」である。

4.14.3 基本的用法

4.14.3.1 外国人の人名や少数民族の人名で間に境界があることを示す。

例1：克里斯蒂娜・罗塞蒂

例2：阿依古丽・买买提⁽³⁰⁾

例3：莎拉・布萊曼

4.14.3.2 書名と篇名（章、卷）の間の境界を示す。

例：《淮南子・本经训》

4.14.3.3 詞調、曲調、詩体名などと題名の中の境界を示す。

例1：《沁园春・雪》

例2：《天净沙・秋思》

例3：《七律・冬云》

4.14.3.4 表題や欄をなす名称が並列した語の間に用いられる。

例：《天・地・人》

4.14.3.5 月日を示す事件や祝日で、漢数字で表示する時、一、十一、十二月の後にのみナカグロ“間隔号”を用いる。また、直接アラビア数字で表す時には、月と日の間にはナカグロ（半角）を用いる。

例1：“九一八”事变 “五四”运动

例2：“一・二八”事变 “一二・九”运动⁽³¹⁾

例3：“3・15”消费者权益日 “9・11”恐怖袭击事件

4.15 二重カギ“书名号”⁽³²⁾

4.15.1 定義

標識の一種で、表現のなかに出てくる各種の作品の名称を示す。

4.15.2 形式

カギの形式には二重カギ（“双书名号”「《 》」）と単独カギ（“单书名号”「〈 〉」）の2種がある。

4.15.3 基本的用法

4.15.3.1 書名、巻名、篇名、刊行物名、新聞名、文書名など。

例1：《红楼梦》（書名）

例2：《史记·项羽本记》（巻名）

例3：《论雷锋塔的倒掉》（篇名）

例4：《每周关注》（刊行物名）

例5：《人民日报》（新聞名）

例6：《全国农村工作会议纪要》（文書名）

4.15.3.2 映画、テレビ、音楽、詩歌、彫像など各タイプにおいて文字、音声、図像などで表現された作品の名称を示す。

例1：《渔光曲》（映画名）

例2：《追梦录》（テレビドラマ名）

例3：《勿忘我》（曲名）

例4：《沁园春·雪》（詩の名前）

例5：《东方欲晓》（彫像名）

例6：《光与影》（テレビ番組名）

例7：《社会广角镜》（番組名）

例8：《庄子研究文献数据库》（ディスクの名称）

例9：《植物生理学系列挂图》（図の名称）

4.15.3.3 全てが中国語あるいは中国語が名称のなかでメインの位置を占めているソフトウェアの名前。

例：《电脑卫士》杀毒软件⁽³³⁾。

4.15.3.4 作品の略称を示す。

例：我读了《念青唐古拉山脉纪行》一文（以下简称《念》），收获很大。

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

4.15.3.5. 書名のなかで二重カギ“书名号”を使う必要がある時、内側のレベルには単独カギ“单书名号”を用い、外側のレベルでは二重カギ“双书名号”を使う。

例：《教育部关于提请审议〈高等教育自学考试试行办法〉的报告》

4.16 ワキセン“专名号”⁽³⁴⁾

4.16.1 定義

標識の一種で、古籍と文学・史学類の著作で出現する特定の固有名詞を示す。

4.16.2 形式

ワキセン“专名号”の形式は直線で、当該文字の下に標記する。

4.16.3 基本的用法

4.16.3.1 古籍や古籍の引用文あるいは文学・歴史の著作で出てくる固有名詞で、主に人名、地名、国名、民族名、時代名、年号、宗教名、官職名、組織名などを示す。

例1：孙坚人马被刘表率军围得水泄不通。(人名)

例2：于是聚集冀、青、幽、并四州兵马七十多万准备决一死战。(地名)

例3：当时乌孙及西域各国都向汉派遣了使节。(国名、朝代名)

例4：从咸宁二年到太康十年，匈奴、鲜卑、乌桓等族人徙居塞内。(年号、民族名)

4.16.3.2. 現代中国語の文章のなかで、上述の名詞、および古籍と現代文のなかの単位名、官職名、事件名、会議名、書名などはワキセン“专名号”を使うべきではない。標識を使って標示する必要がある時は、その他の対応する標識を使うのがよい。(例えば、引用符“引号”、二重カギ“书名号”など)

4.17 スラッシュ“分隔号”⁽³⁵⁾

4.17.1 定義

標識の一種で、詩の行、リズムおよび関連する文字の分割を示す。

4.17.2 形式

スラッシュ“分隔号”の形式は「/」である。

4.17.3. 基本的用法

4.17.3.1. 詩歌の区またがりする時、詩の行を分割する（コンマやセミコロンを使うこともできる。4.5 コンマの基本的用法1、4.7 セミコロンの基本的用法1を参照。）

例：春眠不觉晓/处处闻啼鸟/夜来风雨声/花落知多少。

4.17.3.2 詩文の音節のリズムを示す。

例：横眉/冷对/千夫指，俯首/甘为/孺子牛。

4.17.3.3 スラッシュ“分隔号”は選択肢や転換可能な二つの項を供給し、“或”を表す。

例：动词短语中除了作为主体成分的述语动词之外，还包括述语动词所带的宾语和/或补语。

4.17.3.4 スラッシュ“分隔号”は一对の2つの項目からなり、“和”を表す。

例1：13/14次特別快车⁽³⁶⁾

例2：羽毛球女双决赛中国组合杜婧/于洋两局完胜韩国名将李孝贞/李敬元⁽³⁷⁾。

4.17.3.5 スラッシュ“分隔号”のレベルあるいは類別

例：我国的行政区划分为：省（直辖市、自治区）/省辖市（地级市）/县（县级市、区、自治州）/乡（镇）/村（居委会）

5 くぎり符号“标点符号”の位置と書写位置

5.1 横組み原稿のくぎり符号标点符号”の位置と書写形式

5.1.1 句点“句号”、コンマ“逗号”、テン“顿号”、セミコロン“分号”、コロン“冒号”はいずれも当該文字の後ろに置き、全角1文字文分の場所を占め、左下寄り、行の先頭に現れないようにする。

5.1.2 疑問符“问号”、感嘆符“叹号”はいずれも当該文字の後ろに置き、左寄り、行の最初に現れないようにする。二つの疑問符“问号”（あるいは感嘆符“叹号”）をたたみかける時は、全角1文字分の場所を占める。また、3つの疑問符（あるいは感嘆符“叹号”）をたたみかける時は、全角2文字分の場所を占める。また、疑問符“问号”と感嘆符“叹号”が同時に使われる時は、全角1文字分の場所を占める。

5.1.3 引用符“引号”、カッコ“括号”、二重カギ“书名号”の二つの部分は当該項目の両端に標示し、それぞれ全角1文字分の場所を占める。そのうち前の部分が行の末尾に現れないようにし、後半を行の先頭に現れないようにする。

5.1.4 ナカセン“破折号”は当該項目の間に標示し、全角2文字分の位置を占め、上下の中央に位置し、半分に分かれて上の行の末尾と下の行の先頭に分断することはできない。

5.1.5 テンセン“省略号”は全角2文字分の位置を占め、2つのテンセン“省略号”が続けて使われる時は4文字分の場所を占め、単独で一行を占めなくてはならない。テンセン“省略号”は途中で分断して上の行の末尾と下の行の先頭に置くことはできない。

5.1.6 ハイフン“连接号”のなかの短い横線は漢字の“一”よりもやや短く、半角分の位置を占める。また全角ハイフン“一字线”は漢字の“一”よりもやや長く、全角1文字分の場所を占める。また、ナミセン“浪纹线”は全角1文字分の場所を占める。ハイフン“连接号”は上下の中央に寄せ、行の先頭に現れないようにする。

5.1.7 ナカグロ“间隔号”によって分割されている項目の間は、半角1文字分の場所を占め、上下の中央に寄せ、行の先頭に現れないようにする。

5.1.8 ワキテン“着重号”とワキセン“专名号”は当該文字の下に標示する。

5.1.9 スラッシュ“分隔号”は半角1文字分の場所を占め、行の先頭や行の末尾には現れない。

5.1.10 くぎり符号“标点符号”が行の末尾に配置された時、もし全角字が半角字の幅（すなわ

現代中国語におけるくぎり符号“标点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

ち半角1字の場所)を占める場合は、視覚効果をより美しくなるようにする。

5.1.11 実際の編集や出版作業では、版組の美しさや、読解の便宜などの必要性から、節の最後の1漢字を改行したり、次のページの冒頭に出すなどの状況(版面の無駄や視覚効果がよくない場合)、適切に句読法“标点符号”が占める空間を圧縮してもよい。

5.2 縦書き原稿の句読法“标点符号”の位置と書写形式

5.2.1 句点“句号”、疑問符“问号”、感嘆符“叹号”、コンマ“逗号”、テン“顿号”、セミコロロン“分号”およびコロロン“冒号”は、みな当該文字の下右寄りに置く。

5.2.2 ナカセン“破折号”、テンセン“省略号”、ハイフン“连接号”、ナカグロ“间隔号”およびスラッシュ“分隔号”は当該文字の下の真ん中に起き、上下方向に配列する。

5.2.3 引用符“引号”は、二重引用符“双引号”は「『』」「『』」に、単独引用符“单引号”は「『』」「『』」に改め、カッコ“括号”は「〔〕」「〔〕」に改め、当該項目の上と下に示す。

5.2.4 縦書き原稿で使用するナミセン式二重カギ“浪线式书名号”「~~~~」は、当該文字の左側に示す。

5.2.5 ワキテン“着重号”は当該文字の右側に、ワキセン“专名号”は、当該文字の左側に示す。

5.2.6 横書き原稿における標識が行の先頭や行末を占めないという決まりは、同様に縦書き原稿にも適用される。

おわりに

中国語の标点符号も日本語のくぎり符号も、いずれも西洋言語の影響で使用されたという歴史的経緯があり、欧化文法の一つに位置づけられる。よって西欧の言語の記号の使い方と重なる部分がある。しかし、中国語の記号は、適切な日本語の訳語を与えることさえ困難なほど豊富で、複雑である。

この規範は、公的正確の強い文書に一律に適用されているが、学术论文にも応用されている。よって、当然のごとく中国語で論文を発表する外国語話者の文章にも適用される。日本語話者にとって注意すべきは、句点の用法や項目を列挙する際のルールが大きく異なることであろう。例えば、日本語文書では、書名は『 』、篇名は「 」を使うのが通例であるが、中国語では《 》で書名だけでなく篇名もくるほか、映画やテレビ番組などにも《 》が使われる。中国語の《 》と〈 〉は、日本語の『 』と「 」では記号の形だけでなく運用も異なる。

上述の訳文に示されている句点(。)、疑問符(?)、感嘆符(!)は、肯定、否定、疑問、命令、感嘆といった意味やムード(mood)を示す記号としても機能し、それぞれに対応したイントネーションとして音声実現することを促している。また、翻って言えば、音声実現された中

国語をどのように文字上に表現するかということを示す記号ともなっている。そして、コンマ (,)、テン (、)、セミコロン (;)、コロンの (:)、スラッシュ (/)、ナカグロ (・) は意味のまとまりや区切りを表すだけでなく、朗読の際にポーズを入れる場所を示す記号であることが上述の翻訳から理解できるであろう。そして、引用符 (“ ”) は、それが引用であることを示すだけでなく、高低、長短、緩急、強弱などによって引用符内部の文言を強調することで、それが引用であることや、特定の呼称であることを示す。さらに、中国語の文章を読む際に記号をどのように読むか、あるいは読まないかという点においても日本語とは異なる点に留意する必要がある。

〔注〕

- (1) これは文化庁(2001)で用いられている呼称で、「句読点」あるいは「約物(やくもの)」とも総称される。
- (2) 符号の規範化は、西洋言語に使用されている記号を使用することから試みられた。1919年に胡適・馬裕藻・周作人・朱希祖・劉復・錢玄同の6人が教育部に《請頒行新式標点符号議案》を提出し、翌年正式に公布された。中国では1951年に《標点符号用法》として従来の標点符号に変更を加えたものが公布されて長らく使われたが、現在では最新の改訂版として2011年12月30日に発布、2012年6月1日に施行された中華人民共和国国家标准“GB/T 15834-2011 标点符号用法”が使われている。GBとは、日本のJIS規格に相当する中国国家標準規格で、GB/TのTが意味するところは、「推奨」(Tuijiāng)であり、国家が推奨する規格という意味である。
- (3) 近年は中国国内の外国人に対する中国語教育において記号の用法の間違ひに関する論文が発表されている。元文香(2012)、王弘宇(2016)、裴洲司(2016)など。
- (4) この点は橋本陽介(2019)にも指摘されているように、中国語の「文」の認定が日本語や英語とは異なることと関係している。本稿でも「文」を「2.2 文“句子”(sentence)は、前後に比較的長いポーズがあり、一定の語気やイントネーションを帯び、相対的にまとまった意味をなす言語単位である。」とするが、「比較的長いポーズ」、「イントネーション」、「まとまった意味」という3要素が、3つ満たされることが文の条件になるのか、どれか一つが該当すれば文と見做されるのかという事柄については曖昧な説明であると言える。
- (5) これは中国語話者の日本語作文にも影響があり、中国語のくぎり符号のルールに基づいた日本語文が産出されることも多い。これは日本語作文における中国語話者の母語の干渉といった問題において見落とされがちなことでもある。
- (6) 台湾の標点符号は中華民国教育部が提示し、概ね大陸の用法と一致するが、引用符の形式、ワキテンの有無という点で大陸とは異なる。最新のものは2008年(中華民国97年)の《重訂標点符号手冊》修訂版が使用されている。
- (7) 英語の括弧は通例では複数形を用いるが、仮訳においては単数形で示す。
- (8) “標点符号”に相当する英語 punctuation は一般に「句読法」を指すが、「句読点」の総称としても用いられる。例えば、James Joyce wrote some books without punctuation. (ジェイムズ・ジョイスは、句読点のない本をいくつか残した。)では「句読点」と訳される。
- (9) 英語の句読法には point と mark の違いはなく、question mark、exclamation mark と mark と呼び習わしている。
- (10) ドイツ語では「頓号」を Aufzählungskomma (列挙のコンマ) と呼ぶ。なお、英語では enumeration という。
- (11) () は訳者補。
- (12) () は訳者補。

現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として (3) (石崎博志)

- (13) 原文は“复指成分”。4.4.3a) 例1に観るように、日本語では同格表現に相当する。
- (14) 「規範」では、単に引用符“引号”と言った場合は、二重引用符“双引号”を指す。
- (15) 5・12は wūyāoèr と「つぶ読み」をする。
- (16) tortoise shell brackets (タートイズ・シェル・ブラケット)。
- (17) lenticular brackets (レンティキュラ・ブラケット)。
- (18) 中国の公教育において認められた優秀な教師の称号のこと。
- (19) 違菱(たがいびし)の意。菱形のものを二つ重ねてできる形。
- (20) ellipsis points (エリプシス・ポイント)。
- (21) 長さが短い順に示すと、hyphen- < en dash- < em dash ーとなる。“一字线”は en dash に相当する。
- (22) 2-8
- (23) 中国語の公文書では原則としてスラッシュを使った年月日表示はしない。
- (24) “3-2-11室”は sān èr shíyī shì あるいは 3号楼2单元11室 (sān-hàolóu èr-dānyuán shíyī-shì) と読む。
- (25) “年月日(号)”を補って読む。
- (26) “吐鲁番到哈密盆地”ないし“吐鲁番哈密盆地”と音読する。
- (27) フランス語圏に多い複合名は、prénoms composés、複合姓は noms composés と呼ばれる。
- (28) 例1～例5はいずれも“到”dàoを補って読む。
- (29) 1031-1095は1031到 dào 1095、あるいは1031至 zhì1095と読む。
- (30) ウィグル系の名前。
- (31) 一・二八”事变 “一二・九”运动はいずれも、・は読まず、yīèrbā、yīèrjiǔ と読む。
- (32) Guillemet はフランス語由来の英語。
- (33) 「アンチ・ウィルス・ソフト」の意。
- (34) Under line (Proper name mark)
- (35) Slash
- (36) 中国では北京を基準とし、「上り」は奇数番号、「下り」は偶数番号で表示する。／は読まない。
- (37) 女子バドミントン・ダブルスの決勝で中国ペアの杜婧/于洋が韓国のスター・李孝貞/李敬元に2セットストレートで完勝した。

[参考文献]

- 橋本陽介 (2019) 「中国語書き言葉における「文」論序説」『人文科学研究』15 : 161-172
- 文化庁 (2001) 「くぎり符号の使い方 [句読法] (案)」『言葉に関する問答集総集編』文化庁. (http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/sanko/pdf/kugiri.pdf でも閲覧可能。) http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/series/56/56.html
- 中华人民共和国国家只讲监督检验检疫总局・中国国家标准化管理委员会 (2011) 中华人民共和国国家标准 标点符号用法
<http://www.moe.gov.cn/ewebeditor/uploadfile/2015/01/13/20150113091548267.pdf>
- 王弘宇 (2016) 《对外汉语教材的标点符号问题》《云南师范大学学报 (对外汉语教学与研究版)》2016(02)
- 裴洲司 (2016) 《留学生标点符号运用偏误分析 — 以兰州大学留学生为例》《学园》2015(07).
- 元文香 (2012) 《对外汉语教学中的标点符号教学刍议》《国际汉语学报》2012(02)
- Soya Hashimoto (桥本宗哉) (2015) 《日本学生汉语标点符号偏误分析 [D]》. 北京外国语大学 2015 “标点符号用法 (pdf)”. 中華人民共和国教育部. 2019年5月3日閲覧
<http://www.moe.gov.cn/ewebeditor/uploadfile/2012/06/01/20120601102833791.pdf>
- 贺阳 (1992) 《试论汉语书面语的语气系统》《中国人民大学学报》1992 : 第5期

日本学術振興会科学研究費補助金研究課題「中国語の書面語における語彙・語法の研究 レアリアによる中国語教育の一環として」(研究代表者：石崎博志，期間：2020年度～2023年度，種目：基盤研究 (C)，課題番号：20K00905)。本稿はこの研究成果である。

(いしざき ひろし 中国学科)

2020年10月21日受理

